

# 日々いきいきと

教育目標



明るい子  
強い子  
考える子

入間市立豊岡小学校  
令和4年度 31号

入間市向陽台1-1-14番地

TEL 04-2964-5286

令和4年11月24日

児童数 383名

## 研究発表会、豊小っ子輝く

学校長 村越 新

11月22日、埼玉県道德教育研究推進モデル事業の研究発表会を実施しました。令和元年度より取り組んできた本校の研究に対して、令和3年度より埼玉県教育委員会がモデル校として委嘱をいただき、この日は約80名の参加者に公開授業と研究発表を見ていただきました。

本校の研究は『自己マスタリー』の育成を目指しています。令和元・2年度は「Listen&Talk」を、令和3年度は「**子供も教師も楽しい授業**」を、そして今年度は「**心が動く道德授業の実践**」をテーマに校内研修に取り組んできました。



発表会当日は1年、3年、5年の1クラスが授業を公開しました。どの授業も子供たちがいきいきと活動しており、十分に研究の成果を見ていただいたものと思っています。

「**ルール**を守らないと**迷惑**をかける」「ルール破りは命がなくなることもある」（1年）、「草むしりをして**学校がきれい**になってよかった」「みんなの**役に立てた**ことが嬉しい」（3年）、「相手を許すにはお互いに**協調**し合うことが大事」「**相手のこと**を考える気持ちが大切」（5年）などの発言があり、自己マスタリーの育成を感じることができました。

いきいきした活動ぶりは授業だけではありません。運営を手伝ってくれた6年生も、参加者から高い評価をいただきました。元気なあいさつ、気持ちのよい言葉づかい、心のこもった対応、臨機応援な対応など、**嬉嬉とした姿**は研究成果の一端です。

授業後に行われた研究協議会では、指導者よりありがたいご指導をいただきました。「**学級**のよさ」「**指導**のよさ」「**子供たち**のよさ」「**学校**としての取り組みのよさ」について

具体的な話がありました。もちろん課題のご指摘もありましたので、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

安全面では保護者の方々に支えていただき、安心して会を進めることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

このような会が実施でき、豊岡小学校は幸せです。



# コロナ禍をどう生きるか

全体会では、武庫川女子大学教授の押谷由夫先生のご講演をいただきました。その中で、先生が『令和3年度滋賀県道徳教育振興だより』に寄稿された「コロナ禍を生きる、きみへ」をご披露いただきました。感銘を受けましたので、紹介させていただきます。



コロナ禍の中、日々の生活はどうだろう  
手洗い、うがい、マスク、3密をさける  
授業や学校行事、クラブ活動などの制限  
土曜、日曜、休日にも自由に行動できない  
家庭でも特に祖父母と自由にかかわれない  
すべてにおいて、日常生活が制限される

このようなことを、きみはどのように思うだろう  
いらいらするけどしかたがない  
しんぼうするしかない  
言われるままにしていよう  
できるだけじっとしていよう  
さみしいしむなしくなる

そのように思う「自分と今」を見つめてみよう

今のきみは受け身的になっていないか  
どんな状態でも時間は確実に過ぎていく  
かけがえのない一日一日

その一日一日をどう過ごすか

それがきみの未来を創っていくことはまちがいない

どうすればいいのか  
それを考えるのがきみにとっての道徳教育なのだ  
コロナ禍では自分は関係ないは許されない  
まず自分はどうすればよいかを考えること  
そしてみんなと仲よく楽しく過ごすにはどうすればいいのか  
そのことを真剣に考え新しい自分と社会を創っていく

そう！ コロナ禍を生きるきみたち一人一人が  
新しい生き方と新しい社会を創っていく主人公なのだ